

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	「身体拘束をしないケア実践」のための勉強会や研修の参加が進んでいない。	今までの「研修計画」を見直し、社内勉強会の実施と外部研修には1人でも多くのスタッフに参加して頂く。	今後の研修計画に組み入れる。社協などが行う研修を調べる。	6ヶ月
2	8	「権利擁護」についての学習が進んでいない。	未受講の中堅スタッフに外部での研修に参加して頂く。受講後、受講者による社内研修(勉強会)を行う。	今後の研修計画に組み入れる。社協などが行う研修を調べる。	6ヶ月
3	26	グループで作る介護計画やモニタリングがまだ不十分である。	各スタッフの意見がよく反映された介護計画等を作成し、メンバーが情報を共有する。	ミーティングや会議を行う時間がなかなか取れないので、「回覧形式」、「スタッフノート」なども利用して作成を進める。	6ヶ月
4	23	ホームでの生活について、入居者の思い意向の把握がまだ不十分なため、生活がマンネリになりやすい。	外出や外部でのレク等の機会を多く設ける。入居者の方々に「非日常の時間」も時々過ごして頂く。	普段の入居者との会話の中より、レク等の要望を聞き出す。日常生活も画一的にならない様に、レク等にも変化をつける。	12ヶ月
5	4	最近「運営推進会議」へのご家族の参加が無い。	基本的には開催時に1人以上の参加を確保する。	ご家族に再度「運営推進会議」の目的等を説明し、たとえ固定メンバーでなくとも参加者を確保する。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。